

【事業者向け】 児童発達支援自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 職員の配置数は適切であるか	9	3	0	・時間帯や環境により手が足りないと感じることがある。・不足と感じたらフォローに入っている。・人数的に適切であってもその時の状況で不足と感じることはある。優先順位を考えて行動できれば良いと思う。
	2 事業所の設備等について、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	0	0	・玄関前にスロープと屋内外(トイレ、浴室含む)に手すりを設置している。
業務改善	3 業務改善のための目標設定や振り返りに、広く職員が参画しているか	9	2	未記入1	・朝のミーティング時に職員間で話し合っている。・外部評価も含めたサービス評価を職員全員で実施している。
	4 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1	2	・研修を受ける機会があれば参加してみたい。
適切な支援の提供	5 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画書を作成しているか	11	1	0	・そうなるように努力はしているが、適切ではないかもしれない
	6 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	1	0	・問題がある場合は行なわれるが、日常では徹底しているとは言えない。・保護者からの連絡事項や学校での様子は利用直前にしか分からないので、来所後に連絡事項があればその時に打ち合わせて情報共有している。大きな変化に関しては勉強会などで前もって打ち合わせするようにしている。
	7 定期的に、職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	0	1	・朝のミーティングで情報共有できている。
	8 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	1	0	・発作があった際は発作の大きさ、時間など詳細に記録している。
	9 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	2	0	
関係機関や保護者との連携	10 障害者相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	4	1	・モニタリングでの会議時には計画作成者やサービス管理責任者、または受け持ち職員ができるだけ対応するようにしている。
	11 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	1	0	
	12 医療的ケア児を受け入れる場合は、必要に応じて子どもの主治医と連絡体制を整えているか	4	7	1	・医療的ケア児は現在受け入れがないが、今後受け入れる際には主治医との連絡体制について十分話し合い、必要時は情報交換を行う必要があると考えている。・受診結果などの情報は保護者から得るようにしている。
	13 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で相談支援員を通して情報共有と相互理解に努めているか	4	6	2	
14 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談支援員を通して提供する等しているか	5	6	1	・当てはまる児童がいない。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえ ない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	15	障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	3	1	・託児を利用している健常児と一緒に遊ぶなどして過ごしている際には、いろんなスタッフが遊びの橋渡しをしたり、トラブルが起きないように見守っている。
	16	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	2	0	・保護者の迎えるタイミングで連絡事項や気になることがあれば伝えるようにしている。保護者からも要望を聞いたりもしている。
保護者への説明責任など	17	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	2	0	・運営規程については、閲覧できるようになっている。他、契約やサービス内容に変更があった際に説明し・今後、説明できるようにしておきたい。
	18	必要に応じて保護者からの子育ての悩み等に対する相談を受け、必要な助言や支援を行ったり、保護者同時の連携を支援しているか	9	3	0	・保護者の迎え時などに何かしら会話のやり取りする時間を持つように心がけている。・アドバイスすることがあれば助言も行っている。
	19	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	2	0	・苦情の中には事業所の対応だけでは解決しないことや、一方的な意見の場合もあるので、どのような思いがあるのかゆっくり面談するようにし、相談支援員とも話し合ったりしている。
	20	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1	0	・定期的にひらすま新聞を発行し、情報発信している。
	21	個人情報に十分注意しているか	11	1	0	
	22	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	1	0	・来所時や帰宅時に挨拶を行い円滑なコミュニケーションを図っている。・保護者の意見を十分に聞き、保護者が理解できるように努めている。
	23	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	4	2	・コロナウイルス感染拡大予防のため、事業所内には必要最小限の人数しか招待できていない。
非常時	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	1	0	・定期的な避難訓練を行っているが、児童不在の夜間想定訓練しかしていない。
	25	食物アレルギーのある子どもについて、適切に対応がされているか	12	0	0	・アレルギーのある児に関する情報はスタッフ全員に周知されている。調理する職員が見やすい場所に注意喚起してある。
	26	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	0	0	・スタッフの目に触れにくくなるのを防ぐため事例集は作成せず、出勤者が必ず目を通す連絡ノートに事例を記載し、ミーティング時に読み上げ情報共有している。

小規模多機能ホームひらすまあいべ